

120年ぶり、記録史上最高の群馬の大雪、今後の役に立つように、

先日の大雪の際は大変ご苦労様でした。

東日本大震災の時もそうであったと思いますが、各人が各人なりに考えて行動して下さり今回の危機も無事に乗り切れたと思います。有り難うございました。

前橋も2月14日(金)～15日(土)にかけてのたった半日で73cmに及ぶ積雪は気象庁さえも予想出来なかったようです。出勤は徒歩さえも絶望的な中、それでも各人各様の様々な努力と工夫によって乗り越えられたのは各人の仕事への使命感の現れのおかげ以外の何ものでもありません。

今回の皆さんの各人の考えと行動の実践はきっと今後に役立つものが沢山含まれていることと思います。皆さんの一つ一つの小さな行動の実績が一羊館の大きな実績として実を結びますので、出てくる結果はいわば「チーム一羊館」の結果です。もちろん、偶々幸いにも？仕事明けの休日だった方も含めて総体としての努力の結果です(下記の参照実話)。

この貴重な体験をできれば記録に残したいと思っています。年報(皆さんの活動記録)にも取り入れられればいいなと思っています。

感想・反省・苦情・自分が実行したこと・気づいたこと・今回の大雪で学んだこと等、何でも結構です。ご寄稿下されば幸いです。ご協力をお願い致します。詳しくは事務長にご相談下さい。

参照実話

<50年前の話ですが東京には群馬出身学生用の上毛学舎という寮がありました。そこで
の出来事ですが、ある冬の日には寮の小さな室内で石油ストーブが倒れました。7～8人は周りに居たようですが、パッと燃え広がる炎に驚いて瞬間殆ど全員が部屋から逃出しました。しかし何故か一人が逃出さず毛布をストーブにパッと掛け火が消えたように見えたので逃出した人達が戻りかけた所で、毛布を掛けた本人が毛布をめくった所再び炎が上がりました。毛布を掛けた本人がうわぁっと部屋から逃出しましたが、今度は最初逃げて戻りかけた人達がみんなで火を消して結局は大事には至らなかった、という実話がありました。多様な人達がいってこそこの世の中は上手くいく、ということを示す実話です。>